

トリアージ情報共有を目的とした Web-GIS情報配信システム

新潟大学 工学部 情報工学科
牧野 秀夫

キーワード トリアージ RFID Web-GIS 衛星携帯電話 可視光通信

災害現場ならびに建物内から傷病者のトリアージ情報を送信し、さらにWeb-GISでそれらの情報を共有するシステムである。実際の送信装置、屋内位置測位方法を実演し、地図上での傷病者位置、移動履歴などを画面表示する。

特徴（下記動作をすべて実現）

1. 電源及びも通信網が途絶した災害現場から、専用端末でトリアージ情報を送信。
2. トリアージタグには、RFIDチップ(13.56MHz, 950MHz)を貼付。
3. 2次トリアージ地点では、携帯電話とスマートフォンによりRFIDを読み取る。
4. Web-GISにより患者位置を表示。拡大時は個別位置、縮小時は地区単位の数を表示。
5. 屋内では、照明器具からのIDをもとに位置情報を送信（デモ実験）

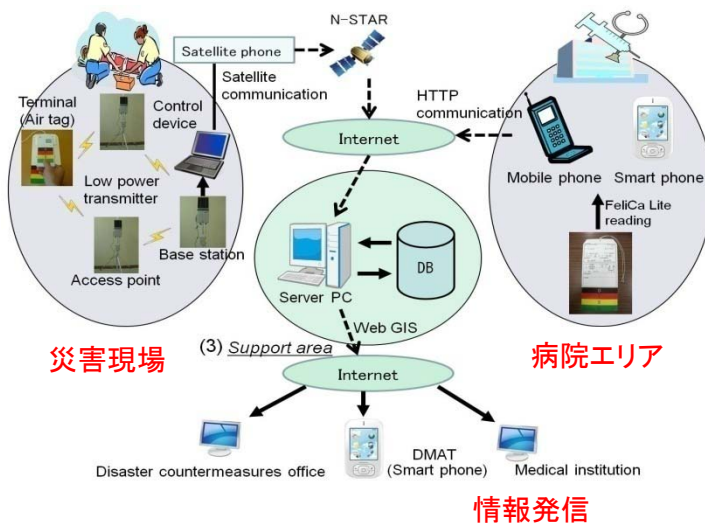


図1 全体構成



図2(a) 拡大表示



図2(b) 縮小表示



図2(c) 傷病者詳細データ表示

図2 トリアージマップ

研究支援:

- 新潟県地域復興支援事業(地域貢献中越復興研究支援)
- 総務省戦略的情報通信研究開発推進制度

協力企業:

中央グループ, BSNアイネット, インクリメントP,
長野日本無線, パナソニック